高浜町における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和６年度	令和７年度	計	令和7年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	33,096,500	10,065,000	43,161,500	82%	青の松原の個体再調査および、危険木伐採本数増加にかかる費用に充てる。
譲与額（円）	41,230,000	10,938,000	52,168,000		

■令和７年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）	うち森林環境譲与税	事業内容
森林整備	青の松原健全化	10,065,000	10,065,000	令和元年度に策定した「青の松原健全化計画」に基づき、協議会を開催および危険木の伐採等を実施し、松原の健全化を図る。
基金積立		873,000	873,000	高浜町森林環境譲与税積立基金
合計		10,938,000	10,938,000	

■主な事業内容と今後の方針（青の松原健全化計画）

概要：「青の松原」は、高浜町において人口が集中する和田地区の市街地を海風から守る防潮林として機能するだけでなく、国際環境認証も得ている若狭和田海岸の美しい海岸を彩るマツ林として景観上重要な役割を持ち、生活環境の維持と観光資源の双方から重要なマツ林である。

背景：高木化したクロマツは、近年頻繁に発生する強風等により近接する住宅地に倒れたり枝が落下するなど危険な側面もある。

方針：森林環境譲与税の活用した対策方針としては、青の松原の個体再調査を実施し、計画を見直すことで、松原の将来的な維持と近隣住宅地への危険回避の両立を目指す。